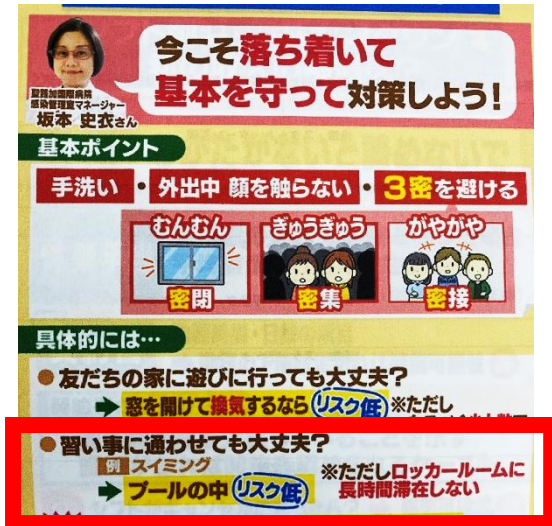


# コロナ禍でも安心！

2021年4月6日放送NHK【あさいち】より～



## プールの中は感染リスクが低い

- プール水の消毒剤として使用されている塩素。ほとんどの細菌やウイルスを滅菌すると言われていています。不活性化(不活動・死滅)率は99～99.9%です。(※滅菌とは100%の菌が死滅した状態のこと)
- プールの塩素濃度は、厚生労働省の遊泳用プール衛生基準で定められた0.4ppm～1.0ppmの濃度で、日頃から塩素消毒をしています。この基準値は、ほとんどのウイルスや細菌を滅菌させることができる濃度です。



- \* シャワーを浴びて、プールの中で泳ぐと体についている菌やウイルスは死滅します。
- \* プール水に10分以上浸漬した水泳帽子、水着、ゴーグルは完全に消毒されます。
- \* 室内プールは湿度が70～80%程度になっており、ウイルスは舞わずに地面に落ちます。落ちた場所には塩素消毒された床があり、滅菌されます。

## ★ プール施設でウイルス感染が心配なのはプールの外！★

だから…『プールの外でもプールと同じ空間作り+接触時間の短縮』

- プール以外の場所に空間除菌噴霧器を設置して、プール水と同じ効果のある次亜塩素酸水を噴霧しています。
- プールに入る前、教室終了後の更衣室内の分散で3～5分程度に時間短縮。
- 水着を服の下に着て来ることで3～5分程度に時間短縮。
- 広い空間で、尚且つ塩素消毒されたプールサイドで体操をしています。
- マスクの着用、入館する前の手消毒。
- 体操室の換気。
- タオルはプールサイドに。体もプールサイドで拭いています。
- 開館前のロッカー、ドアノブ等の消毒清掃、スクールバスドア、席等の消毒。

ISCスイミングクラブ